

- 気候変動による山地災害の激甚化 ⇒ 土砂災害等から住民、県土を守り、森林の公益的機能を高めるための治山事業の推進
- 人工林が本格的な利用期を迎える ⇒ 「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用と生産基盤の整備

○土砂災害から住民、県土を守る治山事業(令和6年度 49箇所 841百万円)

- ・「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を活用し、山地災害から重要インフラを守る「荒廃産地の復旧・予防対策」や、渓流内の危険木の除去・流木補足式ダムの設置等の「流木災害対策」の推進。
- ・近年の局地的豪雨等により発生した山地災害の復旧や、老朽化した施設の長寿命化対策の推進。



山腹崩壊の状況（富山市山田中瀬地内）



治山施設災害復旧事業 法枠工

生活や環境を守る保安林整備



被害木を伐倒・搬出することで、マツクイムシ被害の拡大を防止（富山市浜黒崎）



ドローンを利用して薬剤を散布し、マツクイムシ被害を防除（富山市四方）

○山岳地域の環境を守る自然公園事業(令和6年度 4箇所 72百万円)



国立公園内における老朽化が著しい木道や登山道（弥陀ヶ原、下ノ小平、折立太郎山線）



高山植物地の侵食防止と利用者のスリップ事故対策のために再整備した木道（弥陀ヶ原）

○林業の生産基盤を整備する林道事業(令和6年度 4路線 211百万円)

- ・県営事業では、地域の林内路網の骨格となる森林基幹道および山のみち地域づくり林道について重点整備区間を設定し、予算を重点配分することで早期完成を目指す。また、施設の長寿命化のための改良工事を実施。
- ・団体営事業では、市町が管理する林道について、開設および改良工事と長寿命化のための点検診断を実施。



林道有峰線 新真谷トンネル補修工事（富山市有峰）



大沢野・八尾線 舗装工事（富山市若ヶ原）

○適正な森林整備の推進

- ・県森林・林業振興計画に基づき、間伐等の森林整備や路網整備を一体的に推進。
- ・森林資源の循環利用を加速化するため、主伐の集約化と優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による適正な更新を推進（花粉症対策にも寄与）。



間伐等の森林施業と路網の一體整備（上市町駁泉寺地内）



主伐、無花粉スギによる再造林の推進（富山市八尾町大玉生地内）